



今日のキーワード 今年を振り返るキーワード1『ESG投資』

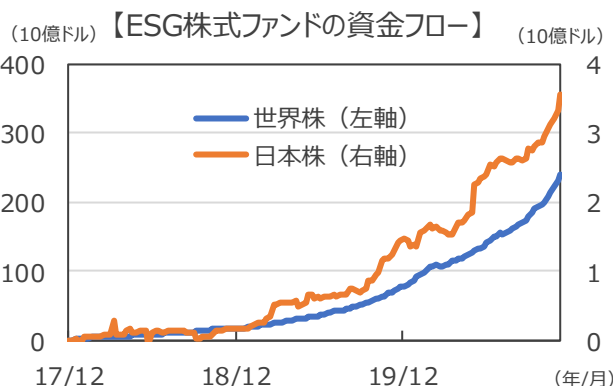
2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新たな生活様式が求められるなか、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に積極的に取り組む企業に資金を投じる『ESG投資』が改めて注目されました。環境や社会に配慮しながら持続的成長が期待できる『ESG投資』は、世界で投資額が一段と拡大しています。日本においても個人向けの投資信託が数多く設定されるなど、『ESG投資』が普及してきました。

ポイント1 2020年は『ESG投資』が世界の資産運用の主要テーマに

- 『ESG投資』は、従来の財務情報だけでなく、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）といった非財務面の要素も考慮した投資です。環境や社会に配慮した経営を行い、企業統治に優れた、持続的成長が期待できる企業を選別することによって、潜在的なリスクを排除し、長期的な収益確保を目指します。
- 2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新たな生活様式が求められるなか、『ESG投資』が改めて注目されました。企業の脱炭素に向けた動きといった環境面のみならず、働き方や雇用維持といった社会面も材料視されました。ESGに優れた企業は社会の発展に貢献し、将来も持続的に成長するとの考え方が普及してきており、今や世界の資産運用の主要テーマになっています。

ポイント2 日本株の『ESG投資』も拡大

- 米国の金融商品の調査会社であるEPFRグローバルによると、世界のESG株式ファンドへの資金フローは2020年に資金流入が加速しており、2017年末からの累計額は12月9日時点で約2,400億ドルとなっています。
- 日本株式を対象としたESG株式ファンドへの資金流入額も伸びており、同累計で約36億ドルとなっています。日本でもESG関連の投資信託が数多く設定されるなど、『ESG投資』は機関投資家だけでなく、個人にも広がってきました。



（注1）データは2017年12月27日～2020年12月9日。週次ベース。
（注2）2017年12月27日からの累計。
（出所）EPFRグローバルのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 2021年も注目される『ESG投資』

- 2021年も『ESG投資』の拡大傾向は続くと思われます。米国で環境問題を重視するバイデン新大統領が誕生することが確実になったことや、欧州を中心とした景気回復を環境重視で進める「グリーン・リカバリー」の動き、在宅勤務の推進などの働き方改革などが引き続き株式市場で注目されると思われます。菅首相による「2050年の温暖化ガス排出実質ゼロ」宣言も追い風となり、『ESG投資』が一段と拡大しそうです。

ここもチェック！ 2020年11月2日 キャッチアップを期待！日本企業への『ESG投資』 2020年10月2日 好調な業績を背景にした『ESG投資』に期待

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。